



九州北部地方(7月10日～8月9日)の向こう1か月の天候の見通しですが、平均気温・降水量・日照時間はほぼ平年並となっています。

## 1. 中後期除草剤について

- ・初期除草剤が効いていない場合は、中後期の除草剤を使用します。
- ・生えている草の種類で除草剤を使い分けて下さい。

表 中後期除草剤一覧

除草剤	使用時期	使用方法	適用雑草
クリンチャー (粒・ジャンボ)	移植後7日～ノビエ4葉期まで	湛水散布 粒剤は空中散布可	ノビエのみ
バサグラン (液・粒)	移植後15日～55日 (液剤:収穫50日前まで) (粒剤:収穫60日前まで)	落水散布 またはごく浅く湛水して散布	広葉のみ (ホタルイ、オモダカ、クログワイ等)
テッケン (粒・ジャンボ)	移植後15日～ノビエ4葉期まで(但し、収穫60日前まで)	湛水散布 粒剤は空中散布可	ノビエ・広葉
ワイドアタックSC	移植後20日(稲5葉期以降)～ノビエ6葉期(但し収穫30日前まで)	落水散布 またはごく浅く湛水して散布	ノビエ・広葉

- ・ドローンによる空中散布を実施する場合は、実施者は事前に空中散布計画書を振興局に提出するようにお願いします。
- ・使用にあたっては必ず各農薬のラベルをご確認下さい。

## 2. 穂肥について

- ・穂肥は一発肥料を施用した場合、必要ありません。
- ・右図を参考に幼穂を確認して、長さが1cm程度(ヒノヒカリ)になったら穂肥(化成肥料16-0-16)を15～20kg/10a程度を施用しましょう。
- ・施肥量は、地力・土壌・生育状況等により適宜加減して下さい。

(1) カッターなどで割る  
(茎をうすく削いでゆく)

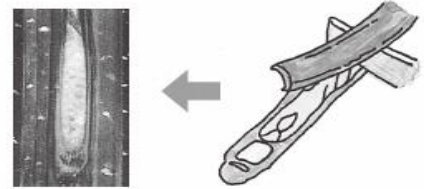


図 幼穂の確認方法

## 3. 病害虫防除について

薬剤	防除時期	病害虫	施用量
トライスタークル粉 DL	出穂期前後	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	3～4kg/10a
ビームエイトスタークルゾル			1,000倍・60～150L/10a

- ・基幹防除である出穂期前後の防除を確実に実施して下さい。
- ・今年産もトビイロウンカの警報・注意報にご注意下さい。